

2006
Chubu University
Charity Concert
チャリティーコンサート

中部大学マンドリンクラブ
中部大学混声合唱団
中部大学ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ
中部大学シンフォニックバンド
中部大学管弦楽団
中部大学音楽祭オーケストラ・合唱団



第三回
中部大学
音楽祭

賛助出演：春日井市交響楽団
春日井第九合唱団

指揮：マーク・ライベル

独唱：ソプラノ 福住 恭子

アルト 宮澤 優子

テノール 平尾 憲嗣

バス ダニエル・オーレンシュレーガー

第一部
中部大学青春の輝き

第二部
「歓喜の合唱」

ベートーヴェン作曲

「交響曲第九番」第4楽章



12/10(日)

開場/14:15 開演/15:00

愛知県芸術劇場
コンサートホール

●地下鉄東山線、名城線「栄」駅下車、東へ徒歩2分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

●名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分

入場料：一般1000円

学生・生徒500円

(入場券売上金は、NHK厚生文化事業団・
社会福祉法人中日新聞社会事業団への
寄付金とさせていただきます。)

お問い合わせ

中部大学 渉外部 (0568) 51-1111

ホームページ

<http://www.chubu.ac.jp/>

入場券取扱場所：渉外部

主催：中部大学

【後援】愛知県・春日井市・春日井市教育委員会・(財)かすがい市民文化財団・NHK名古屋放送
局・NHK厚生文化事業団・中日新聞社・中日新聞社会事業団・中部大学同窓会・中部大学後援会・
中部大学幸友会【協力】春日井市交響楽団・春日井第九合唱団 【協賛】(有)中部大学サービス

pia.jp/t



Tel.0570-02-9999(PCODE:240-172)

URL:<http://pia.jp/t/chubu/>

お近くのチケットぴあスポット、ファミリーマート、サークルK、
サンクスでも直接お買い求め頂けます。

0570-02-9999

中部大学
音楽祭

チャリティ・コンサートの喜び

中部大学 音楽祭実行委員長
三浦 昌夫 (中部大学学監)



中部大学は、大学を挙げて、年末にチャリティ・コンサートを開くのを大きな喜びといたしております。この冬にも、大学の学生たちの音楽クラブを中心に、春日井市の春日井第九合唱団と春日井市交響楽団のご協力をえて、第3回中部大学音楽祭を愛知芸術劇場コンサート・ホールで開くことになりました。先の2回の音楽祭も、みなさま多数のご熱意とご協力で、多大の成果を上げることができました。特に、昨年のステージの模様や寄付の様子などは、NHKテレビ・ラジオのニュースでも紹介され、大きな反響を呼びました。心から感謝いたします。チャリティ・コンサートの喜びは、音楽を聴く喜びだけではなく、感動的な音楽を聴いて自分の幸せを思い、他人(ひと)の幸せを願う—その優しい人間的な心を私たちに思い出させてくれることにあります。第2部の「第九」には、今回もまた、国の内外から優れた指揮者とソリストをお招きしました。若者たちの未来の音楽と人類愛の理想を歌う「第九」を聴きながら、みなさまと一緒に、世界中が幸せな年を迎えることが出来るよう、なにかしかの努力と貢献をいたしたいと存じます。今年は学生によるボランティア活動を運営するNPOセンターも立ちあがり、チャリティコンサートへの協力をしています。ぜひ、本年もご参加の上、ご協力をお願いいたします。

中部大学青春の輝き ~Our Music~

第一部

■ 中部大学ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ

THREE DAY SUCKERS 作曲:ブルース・ローレン
SHINY STOCKINGS 作曲:フランク・フォスター
NIGHT FLIGHT 作曲:サミー・ネスティコ

■ 中部大学マンドリンクラブ

アイネクライネナハトムジークより第2楽章
作曲:モーツァルト
モルダウ 作曲:スメタナ
水車小屋の娘たち 作曲:マリオ・マチョッキ

■ 中部大学混声合唱団

混声合唱組曲 カムイの森で 作詞:荻原 貢 作曲:広瀬量平

■ 中部大学シンフォニックバンド

イギリス民謡組曲 第1楽章 作曲:レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ
ボルト 作曲:ショスター・コーヴィッチ
栄光への脱出 作曲:アルフレッド・リード

■ 中部大学管弦楽団

ハンガリー舞曲第5番 作曲:ブラームス
ラデッキー行進曲 作曲:シュトラウス1世
他

歓喜の合唱 ~ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」第4楽章~

第一部

■ 中部大学音楽祭オーケストラ・合唱団

■ 賛助出演：春日井市交響楽団／春日井第九合唱団

指揮:マーク・ライベル
独唱:ソプラノ 福住 恭子 アルト 宮澤 優子 テノール 平尾 憲嗣 バス ダニエル・オーレンシュレーガー

指揮:マーク・ライベル
Marc Reibel



ソプラノ:福住恭子
Kyoko Hukuzumi



アルト:宮澤優子
Miyazawa Yuko



テノール:平尾憲嗣
Hirao Noritugu



バス:ダニエル・オーレンシュレーガー
Daniel Ohlenschlager



1973年にドイツのシュバイヤーで生まれました。ライン川に沿ったこの街はユネスコの世界遺産に登録された大聖堂で有名です。マークは、8歳のときからピアノのレッスンを受け始めました。ハイデルベルグ=マンハイム音楽院に進み、ピアノを習いました。同時に、シュトゥットガルトの音楽院で指揮を修めました。この間、有名なシュトゥットガルト・フィルを始め、ロイトリンゲン・フィルやバーデン・バーデンフィルなどの指揮をしています。ピアニストとしても多くのコンクールで優勝し、ソリストとして多くの演奏会も開いています。2001年から、リンツ州立劇場の専属指揮者として、「魔笛」《後宮からの誘拐》《カルメン》《売られた花嫁》《こもり》《サウンド・オブ・ミュージック》などなど、数々のオペラやオペレッタやミュージカルを指揮しています。2004年には、リンツのブルックナー・オーケストラを率いて、ウィーン・コンツェルトハウスを始め、オーストリアの各地で指揮をしています。今回、初来日。

大阪音楽大学卒業、同大学院オペラ研究室修了。2001年よりミラノ(イタリア)に留学。ミラノをはじめ、シチリア島・マントヴァなどイタリア各地でコンサートに出演するなど積極的に活動している。豊かな声量と、あふれる音楽性、親しみやすいキャラクター。第21回イヅマエレ・ヴォルトリーニ国際コンクール(イタリア)第2位。第1回国際声楽コンクール(マントヴァ・イタリア)第2位。オペラでは「トゥーランドット」リュウ役、「イル・トロヴァトーレ」レオノーラ役等を好演。

新潟市生まれ。国立音楽大学卒業。現在、ミラノ・シチリアを中心にイタリア各地で演奏活動を行っている。新潟市音楽コンクール最優秀賞受賞。ヴェルツェリ国際コンクール入選。2005年10月、新潟にてイタリア・ミラノのスカラ座・ヴェローナ野外劇場などでの主役経験を持つヴィンチェンツォ・ブーマ氏をゲストに迎えリサイタルを開催、好評を得る。2005年11月、名古屋港イタリア村にて15日間連続のオペラティックコンサートに出演。カティア・ロローヴァ氏に師事。ミラノ在住。

国立音楽大学卒業、同大学院オペラコース修了。小澤征爾音楽塾「ラ・ボエーム」のロドルフォ役など多数の舞台に出演。その他、東京オペラの森、日本ロッシーニ協会、ヴェルディ協会主催によるオペラやコンサートに出演し、東京都交響楽団・九州交響楽団とも共演する。第4回オペラティックハル第1位。現在、国立音楽大学演奏補助員・藤原歌劇団団員。

リンツを中心に、オペラや歌曲や宗教曲などを歌い、その美しい声と豊かな声量で人気を博している若手のバリトンです。オーストリアのリンツのブルックナー大学でバリトンを修めました。1997年から今年まで、リンツの州立劇場の歌曲祭に出演。オペラのデビューは《ドン・ジョヴァンニ》のレポレロで、その後、《ファルスタッフ》のフォードや《フィガロの結婚》の伯爵、《タンホイザー》のヴォルフガングや《魔笛》のパパゲノーといった主役や主役級を歌っています。そのほか、バッハやハイドンの作品にも数多くソリストとして出演。2006年の今年も、レポレロを歌い、ハイドンの「天地創造」でオーストリア・ツァーを重えています。